



地域づくり活動支援事業

みんなでつくろう 小田付地区 重伝建 標識プロジェクト 2021^{Final} 2021年11月～2022年5月



2018年に重要伝統的建造物群保存地区（略して「重伝建地区」）に選定された小田付地区の伝統的建造物（特定物件）であることを示す標識がこれから作成されます。どんな標識にすると小田付の人々が誇りを持ち、見る人が楽しめるかをみんなで考えていくプロジェクトを進めています。2019年度の活動では、小田付の財産を掘り起こすことを目的に、まちなみの調査や聞き取りを行い、地域資源の豊かさを再確認することができました。2020年度、地域の歴史や人びとの思いを調査し、標識のデザインを複数提案させていただきました。3年目となる今年度、複数の標識デザイン案からの選定と設置後の活用を目指して、プロジェクトを進めて参ります。

小田付のみなさまにもご参加いただき、一緒に取り組むことで地域の賑わいにつなげていけたらと考えていますので、どうぞ協力を宜しくお願いいたします。

キタ美

「喜多方でアートを楽しむ」をコンセプトに、アーティストやアートに携わる学生と地域を結びつけ、地域コミュニティーや学びの場に繋げることを目的としています。

標識を手がかりに人々が小田付を歩いて欲しい。
小田付の魅力をもっと多くの人に知ってもらいたい。

小田付地区が今後、町全体として景観の維持・継承などに取り組んでいくために、地域の人々のさらなる意識と共有が必要になると考えられます。重伝建地区の特定物件であることを示す標識の作成に町全体で取り組むことで、単なる標識ではなく町のシンボルとして、重伝建地区に関わる人々や周辺地域への認知向上につなげます。

地域の歴史や地域の人びとの思い、『おたづきの物語』を探し、可視化して、また新しい物語が生まれるような、おたづきの探検が続いていくきっかけになるような標識デザインを、と学生達が考えて提案をしてくれています。みなさんの意見を取り入れながらデザインを絞り込み、素材や印字方法を検討していきます。

出来上がった標識などを利用して地域内を巡り歩けるような仕組みを考案するまでを目標とし、小田付地区外の人にも重伝建地区であることを広く発信し、町の魅力を周知していきます。

年間
計画

標識プレート制作ワークショップ

候補となるデザイン・素材・印字方法を用い、手作業によってプレート制作を試みます。

2021年
日時 **11月28日(日)** 場所 会陽館
10:00~12:00

記録映像の作成

活動を通して小田付の現在を記録して財産とします。

2021年 2022年
期間 **11月~5月** 場所 小田付地区周辺
協力 飯田将茂氏(アーティスト・映像作家)

交流・報告会

小田付でのストーリーを振り返り、地域の方々と共有します。年間の調査内容の報告、標識デザインや活用についての発表も行います。

2022年
日時 **3月予定** 場所 小田付地区内予定

※詳細は改めてご案内させていただきます!

協力 筑波大学 原忠信 研究室

2013~2016年「喜多方・夢・アートプロジェクト」における事業をはじめとして、2019年度実施した「南町2850プロジェクト2019」で空き家・空き地の再生・活用のための事業で協力をいただくなど、小田付地区との関わりが長く続いています。ビジュアルデザインを専門とする同研究室と連携して事業を実施します。

協力 テクノアカデミー会津 観光プロデュース学科

地域の観光産業を総合的にプロデュースできる人材、様々なサービス業に対応できる人材の育成を目指す学科であり、地域の活性化をテーマとした本事業を、教育実践の一つに結びつけ小田付地区と連携して事業に取り組みます。

筑波大学芸術系原研究室 PLAY RESILIENCE Lab. のみなさんが考えた標識デザイン案の設置例



お問合せ先

キタ美実行委員会

TEL : 0241-23-5188 (担当 五十嵐) MAIL : contact@kitabi.jp HP : https://kitabi.jp/